

2017年度 園の自己評価

園名	幼保連携型認定こども園「おへそこども園」																																																					
教育・保育理念	ALL FOR KIDS ~すべては子どもたちのために~	当園は「育てる」場所ではなく、「育つ」場所。自ら考え、自ら学び、自ら行動する力が育ち、ひとりひとりの魅力を伸ばす場所を目指します。																																																				
<p>「おへそグループが大切にしている『3つの目標』」</p> <p>自ら考え、自ら学び、自ら行動し、人生を楽しく生きるために必要な3つの力を大切に教育・保育します。「高み（タ・カ・ミ）を目指す！」を職員も子どもたちも目標に。</p> <p>「タ 楽しむ力」</p> <p>何事も前向き、全力で楽しみ、困難にも笑顔と勇気を持つて立ち向かう「つよく、やさしい」を育みます。</p> <p>「力 考える力」</p> <p>自分で考え、自分で学び、自分で選択し、行動する「やれ！ より、やる！」という自主自立を大切にします。高邁な志、夢、情熱を抱き、行動できる想像・創造力を育みます。</p> <p>「ミ 認める力」</p> <p>自分を認め、他人を認め、他との違いを認め、違いを受け入れ、協力し、向上し合う「和の心」を育みます。</p>																																																						
本年度の目標	標準	標準	標準																																																			
<p>自己評価（教育保育の計画・健康及び安全・職員の資質向上と自己評価）の3領域</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>領域</th><th>評価の観点</th><th>評価項目</th><th>達成状況</th><th>今年度の状況</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">保育の計画</td><td>1) 教育保育課程の編成</td><td>教育保育方針、こども園教育保育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成</td><td>A</td><td>子どもも主体の保育、子どもとの視点を常に意識し、子どもも自ら育つ環境を実践した。</td></tr> <tr> <td>2) 指導計画の作成と展開</td><td>年間計画・月間計画・週日案の作成</td><td>A</td><td>年間計画・月間計画・週日案の作成し、見通しを持ち、子どもたちの生活の連續性と姿を考慮した計画の作成・展開を実践した。</td></tr> <tr> <td>3) 発達課程に応じた保育</td><td>生活の連続性・子どもの姿を考慮</td><td>A</td><td>未満児・1歳児は、個別計画に沿った関わりをもち、異年齢（以上児）と積極的に交流できるよう環境づくりに努めた。</td></tr> <tr> <td>4) 特別支援保育の対応</td><td>未満児の個別計画 保護者・関係機関との連携</td><td>A</td><td>特別支援の必要な子どもに対する保育環境づくりに務め、個別計画の作成を実践した。巡回指導、療育施設との連携も積極的に行なった。</td></tr> <tr> <td rowspan="4">健康及び安全管理</td><td>1) 子どもの健康支援</td><td>異年齢（以上児）への協同的な活動の促し</td><td>A</td><td>保育士と看護師が連携しながら早期対応を中心とした感染症のまん延に努めたが一部流行した。</td></tr> <tr> <td>2) 環境及び衛生管理・安全管理</td><td>健康状態等の把握と疾病等への対応</td><td>B</td><td>設備・用具の点検があった。さらなる管理に努めていった。</td></tr> <tr> <td>3) 食育の推進</td><td>設備・用具等の衛生管理 安全点検・避難訓練等の実施</td><td>C</td><td>設備・用具の点検を実施した。遊具整備不備等でケガがあつた。年齢別に食育計画を作成し、計画的に食育を実践した。</td></tr> <tr> <td>1) 施設長の責務</td><td>アレルギー等への対応</td><td>B</td><td>消防関係・福祉関係・学校関係の遵守を心がけた。アレルギー対応にはより一層の努力が必要だ。</td></tr> <tr> <td rowspan="3">職員の資質向上</td><td>2) 自己研鑽</td><td>法令順守・職員指導・研修等</td><td>A</td><td>アレルギー等への対応にはより一層の努力が必要だ。</td></tr> <tr> <td>3) 目標管理</td><td>研修等への積極的な参加</td><td>A</td><td>消防関係・福祉関係・学校関係の遵守を心がけた。2ヶ月に1度の面談も実践し、職員への指導を実践した。</td></tr> <tr> <td></td><td>1年間の目標設定と振り返り</td><td>B</td><td>チーム目標、個人目標を掲げてその達成度を見るために再度面談と振り返りを行う。</td></tr> </tbody> </table>			領域	評価の観点	評価項目	達成状況	今年度の状況	保育の計画	1) 教育保育課程の編成	教育保育方針、こども園教育保育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	A	子どもも主体の保育、子どもとの視点を常に意識し、子どもも自ら育つ環境を実践した。	2) 指導計画の作成と展開	年間計画・月間計画・週日案の作成	A	年間計画・月間計画・週日案の作成し、見通しを持ち、子どもたちの生活の連續性と姿を考慮した計画の作成・展開を実践した。	3) 発達課程に応じた保育	生活の連続性・子どもの姿を考慮	A	未満児・1歳児は、個別計画に沿った関わりをもち、異年齢（以上児）と積極的に交流できるよう環境づくりに努めた。	4) 特別支援保育の対応	未満児の個別計画 保護者・関係機関との連携	A	特別支援の必要な子どもに対する保育環境づくりに務め、個別計画の作成を実践した。巡回指導、療育施設との連携も積極的に行なった。	健康及び安全管理	1) 子どもの健康支援	異年齢（以上児）への協同的な活動の促し	A	保育士と看護師が連携しながら早期対応を中心とした感染症のまん延に努めたが一部流行した。	2) 環境及び衛生管理・安全管理	健康状態等の把握と疾病等への対応	B	設備・用具の点検があった。さらなる管理に努めていった。	3) 食育の推進	設備・用具等の衛生管理 安全点検・避難訓練等の実施	C	設備・用具の点検を実施した。遊具整備不備等でケガがあつた。年齢別に食育計画を作成し、計画的に食育を実践した。	1) 施設長の責務	アレルギー等への対応	B	消防関係・福祉関係・学校関係の遵守を心がけた。アレルギー対応にはより一層の努力が必要だ。	職員の資質向上	2) 自己研鑽	法令順守・職員指導・研修等	A	アレルギー等への対応にはより一層の努力が必要だ。	3) 目標管理	研修等への積極的な参加	A	消防関係・福祉関係・学校関係の遵守を心がけた。2ヶ月に1度の面談も実践し、職員への指導を実践した。		1年間の目標設定と振り返り	B	チーム目標、個人目標を掲げてその達成度を見るために再度面談と振り返りを行う。
領域	評価の観点	評価項目	達成状況	今年度の状況																																																		
保育の計画	1) 教育保育課程の編成	教育保育方針、こども園教育保育要領に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	A	子どもも主体の保育、子どもとの視点を常に意識し、子どもも自ら育つ環境を実践した。																																																		
	2) 指導計画の作成と展開	年間計画・月間計画・週日案の作成	A	年間計画・月間計画・週日案の作成し、見通しを持ち、子どもたちの生活の連續性と姿を考慮した計画の作成・展開を実践した。																																																		
	3) 発達課程に応じた保育	生活の連続性・子どもの姿を考慮	A	未満児・1歳児は、個別計画に沿った関わりをもち、異年齢（以上児）と積極的に交流できるよう環境づくりに努めた。																																																		
	4) 特別支援保育の対応	未満児の個別計画 保護者・関係機関との連携	A	特別支援の必要な子どもに対する保育環境づくりに務め、個別計画の作成を実践した。巡回指導、療育施設との連携も積極的に行なった。																																																		
健康及び安全管理	1) 子どもの健康支援	異年齢（以上児）への協同的な活動の促し	A	保育士と看護師が連携しながら早期対応を中心とした感染症のまん延に努めたが一部流行した。																																																		
	2) 環境及び衛生管理・安全管理	健康状態等の把握と疾病等への対応	B	設備・用具の点検があった。さらなる管理に努めていった。																																																		
	3) 食育の推進	設備・用具等の衛生管理 安全点検・避難訓練等の実施	C	設備・用具の点検を実施した。遊具整備不備等でケガがあつた。年齢別に食育計画を作成し、計画的に食育を実践した。																																																		
	1) 施設長の責務	アレルギー等への対応	B	消防関係・福祉関係・学校関係の遵守を心がけた。アレルギー対応にはより一層の努力が必要だ。																																																		
職員の資質向上	2) 自己研鑽	法令順守・職員指導・研修等	A	アレルギー等への対応にはより一層の努力が必要だ。																																																		
	3) 目標管理	研修等への積極的な参加	A	消防関係・福祉関係・学校関係の遵守を心がけた。2ヶ月に1度の面談も実践し、職員への指導を実践した。																																																		
		1年間の目標設定と振り返り	B	チーム目標、個人目標を掲げてその達成度を見るために再度面談と振り返りを行う。																																																		
達成状況	A 優	B 優	C 可 D 不可																																																			

以上のように報告いたします。

平成30年4月14日
社会福祉法人みすものがたり
幼保連携型認定こども園 おへそこども園

園長 吉村 直記



2017年度 園の自己評価

園名	小規模保育所「七賢人の里 おへそ保育園」		
教育・保育理念	ALL FOR KIDS ~すべては子どもたちのために~ 当園は「育てる」場所ではなく、「育つ」場所。 自ら考え、自ら学び、自ら行動する力が育ち、 ひとりひとりの魅力を伸ばす場所を目指します。		
教育・保育目標	'あへそグループが大切にしている『3つの目標』」 自ら考え、自ら学び、自ら行動し、人生を楽しく生きるために必要な3つの力を大切に教育・保育します。「高み(タ・カ・ミ)を目指す！」を職員も子どもたちも目標に。 「タ・ミ・和の心」を育みます。 「力考える力」 自分で考え、自分で学び、自分で選択し、行動する「やれ！ やる！」という自主自立を大切にします。高邁な志、夢、情熱を抱き、行動できる想像・創造力を育みます。 「ミ認める力」 自分を認め、他人を認め、他との違いを認め、違いを受け入れ、協力し、向上し合う「和の心」を育みます。		
本年度の重点目標	1) 子ども主体の保育の提供・保育の環境構成による間接的保育の提供 2) 子どもの健康及び安全管理 3) 職員の資質向上 4) 障害を持つ子どもに対する保育の質向上		
自己評価（教育保育の計画・健康及び安全・職員の資質向上と自己評価）の3領域			
領域	評価の観点	評価項目	達成状況
保育の計画	1) 教育保育課程の編成	教育保育方針、こども園教育保育要領 に示されたねらい、内容を生活に取り入れた編成	A 子どもも主体の保育、子どもの視点を常に意識し、子ども自ら育つ環境を実践した。
	2) 指導計画の作成と展開	年間計画・月間計画・週日案の作成 生活の連続性・子どもの姿を考慮	A 年間計画・月間計画・週日案の作成し、見通しを持ち、子どもたちの生活の連續性と姿を考慮した計画の作成・展開を実践した。
	3) 発達課程に応じた保育	未満児の個別計画 異年齢（以上見）への協同的な活動の 促し	A 未満児・1歳児は、個別計画に沿った関わりを持ち、おへそこども園と連携し、交流に努めた。
	4) 特別支援保育の対応	指導計画への位置づけ 保護者・関係機関との連携	A 特別支援の必要な子どもに対する保育環境づくりに務め、個別計画の作成を実践した。巡回指導、療育施設との連携も積極的に行なった。
健康及び安全	1) 子どもの健康支援	健康状態等の把握と疾病等への対応	B 保育士と看護師が連携しながら早期対応を心がけた感染症のまん延に努めたが一部流行した。
	2) 環境及び衛生管理・安全管理	設備・用具等の衛生管理 安全点検・避難訓練等の実施	C 設備・用具の点検に努めていたが、予期しないケガ等も発生した。
	3) 食育の推進	食育計画の作成と実践 アレルギー等への対応	A 年齢別に食育計画を作成し、計画的に食育を実践した。アレルギー対応にはより一層の努力が必要。
職員の資質向上	1) 施設長の責務	法令順守・職員指導・研修等	A 消防関係・福祉関係・学校関係・保健関係の遵守を心がけた。2ヶ月に1度の面談も実践し、職員への指導を実践した。
	2) 自己研鑽	研修等への積極的な参加	A 自主的な研修に参加しやすいよう努め、それを促す環境がある。
	3) 目標管理	1年間の目標設定と振り返り	B チーム目標、個人目標を掲げてその達成度を見るために再度面談と振り返りを行う。

以上のように報告いたします。

平成30年4月14日
社会福祉法人みずものがたり
小規模保育所「七賢人の里 おへそ保育園」
園長 西村 希望

